株式会社MORESCO

第69期(2027年2月期)

第2四半期(中間期)業績の概要

(2026年3月1日～2026年8月31日)

東証スタンダード 5018(石油・石炭製品)

2026/10/21

Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

目　次

- 経営環境および業績の概要
- 財務の状況
- 第10次中計の進捗状況およびトピックス

Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

目　次

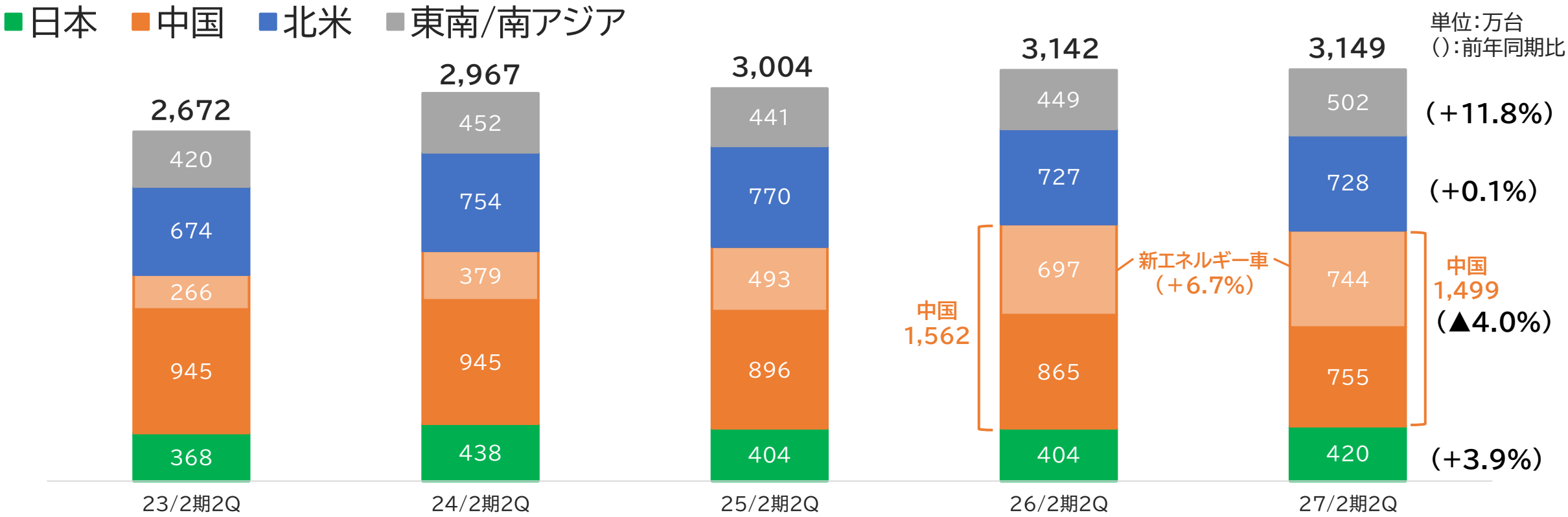
- 経営環境および業績の概要
- 財務の状況
- 第10次中計の進捗状況およびトピックス

Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

経営環境-自動車生産台数

- 日本国内の生産台数は3.9%増。東南/南アジアは、インドがけん引して11.8%増と大幅に増加
- 中国は新エネルギー車が増加したものの、従来型車が減少して全体で4.0%減

当社拠点所在地域における自動車生産台数の推移



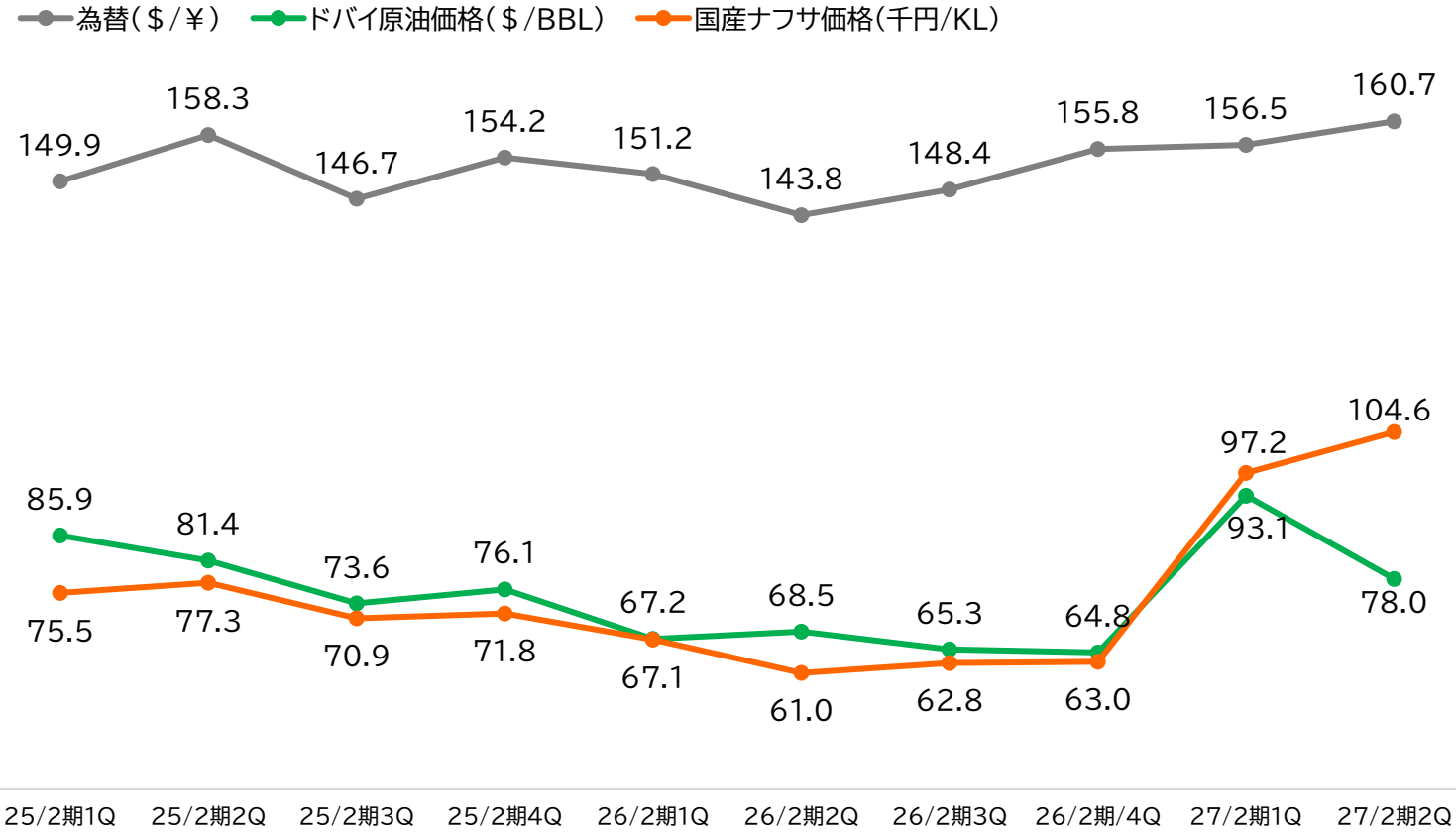
出所: マークラインズ社の資料をもとに当社作成
注1: 当社の会計年度を基準に集計(日本:3月～8月 海外:1月～6月)
注2: 東南/南アジアは、タイ、インドネシアとインドの合計
注3: 北米は、アメリカとメキシコの合計

Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

経営環境-為替・原油・ナフサ価格の推移

- 原油価格は一時高騰も直近は落ち着く
- ナフサ価格は高騰

為替・原油・ナフサ価格の推移



	26/2期 2Q	27/2期 2Q	前年 同期比	27/2期 計画
為替レート ($/¥)	143.8	160.7	+17.0	160.0
原油価格 ($/BBL)	68.5	78.0	+9.5	130.0
国産ナフサ価格 (千円/KL)	61.0	104.6	+43.6	-

注:数値は各期の平均値
出所:公表データをもとに当社作成

Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

連結損益計算書

➢ 売上高
- 特殊潤滑油部門など主要各部門で売上が増加

➢ 売上総利益、営業利益
- 高付加価値製品の拡販および価格是正により売上総利益率が上昇し、増益

➢ 経常利益
- 営業利益の増加および為替差損の減少により増益

（単位：百万円）	26/2期 2Q	27/2期 2Q	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	16,865	**19,625**	+2,760	+16.4%
売上総利益	5,122	**7,149**	+2,026	+39.6%
販管費	4,173	**4,691**	+519	+12.4%
営業利益	949	**2,457**	+1,508	+158.8%
営業外損益	▲28	**272**	+300	–
経常利益	922	**2,729**	+1,808	+196.2%
税引前利益	919	**2,346**	+1,427	+155.3%
当期純利益※	506	**1,516**	+1,010	+199.5%

※親会社株主に帰属する中間純利益

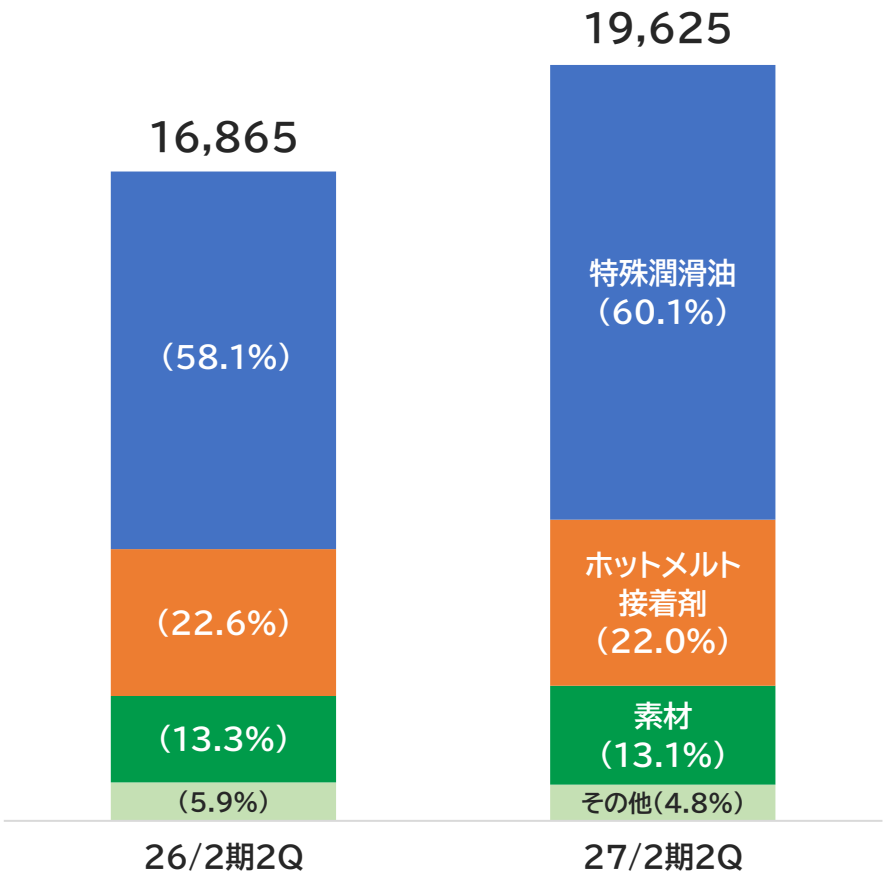
Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

部門別売上高

➢ 各地域で需要が増加し、主要部門で増収

（単位：百万円）	26/2期 2Q	27/2期 2Q	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
特殊潤滑油部門	9,804	**11,802**	+1,998	+20.4%
ホットメルト接着剤部門	3,815	**4,316**	+501	+13.1%
素材部門	2,243	**2,562**	+319	+14.2%
その他	1,002	**944**	▲58	▲5.8%
売上高合計	16,865	**19,625**	+2,760	+16.4%

部門売上高シェア



Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

特殊潤滑油部門

【売上高】前年同期比20.4%増(11,802百万円)　【売上数量】前年同期比6.5%増

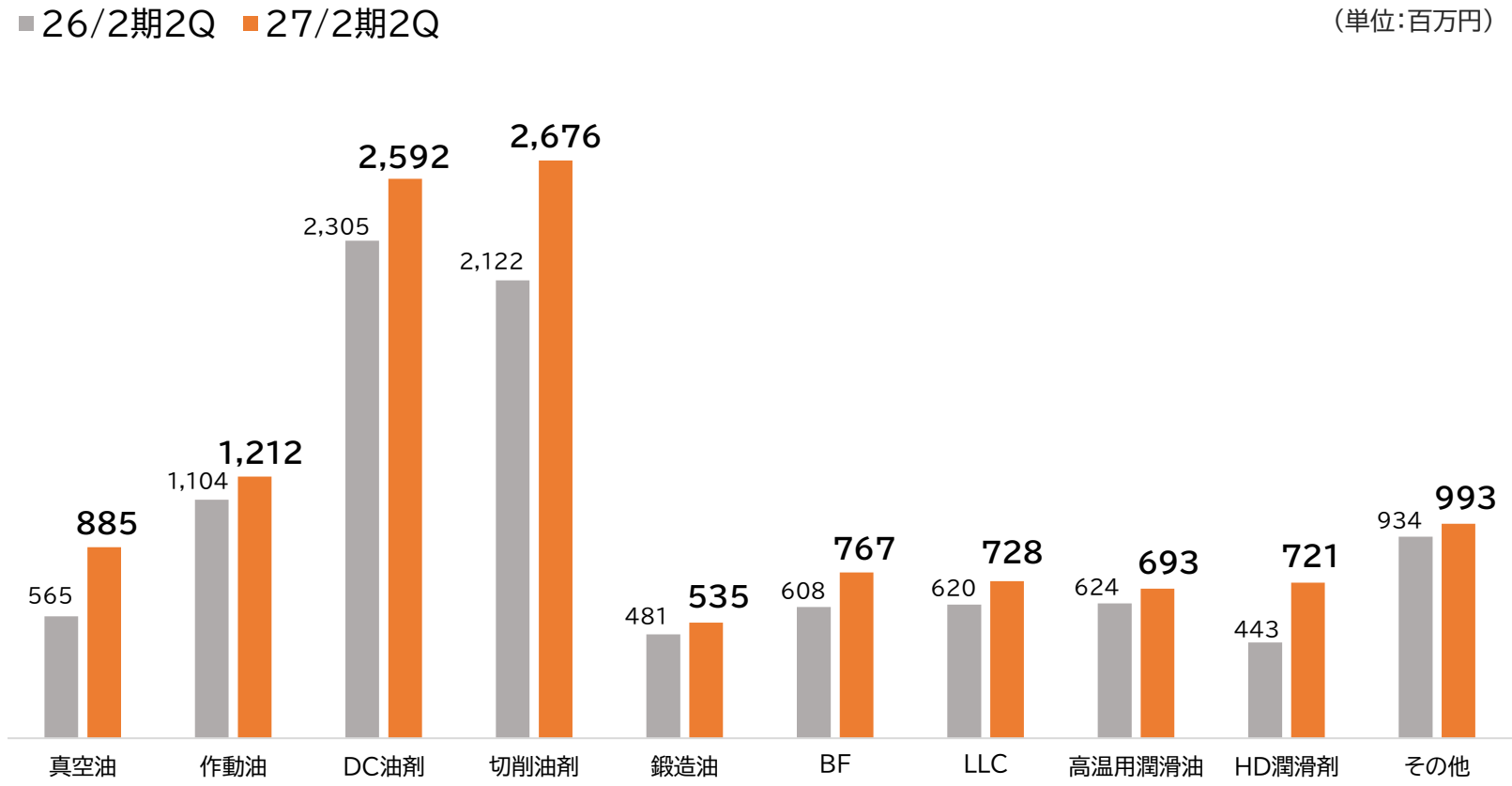
真空油
- 国内および中国における需要増により増収

DC(ダイカスト)油剤
- 国内および東南/南アジアにおける販売増により増収

切削油剤
- 国内および中国における需要増により増収

HD(ハードディスク)潤滑剤
- 好調を維持し増収

製品別売上高



Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

ホットメルト接着剤部門

【売上高】前年同期比13.1%増（4,316百万円）　　【売上数量】前年同期比5.8%減

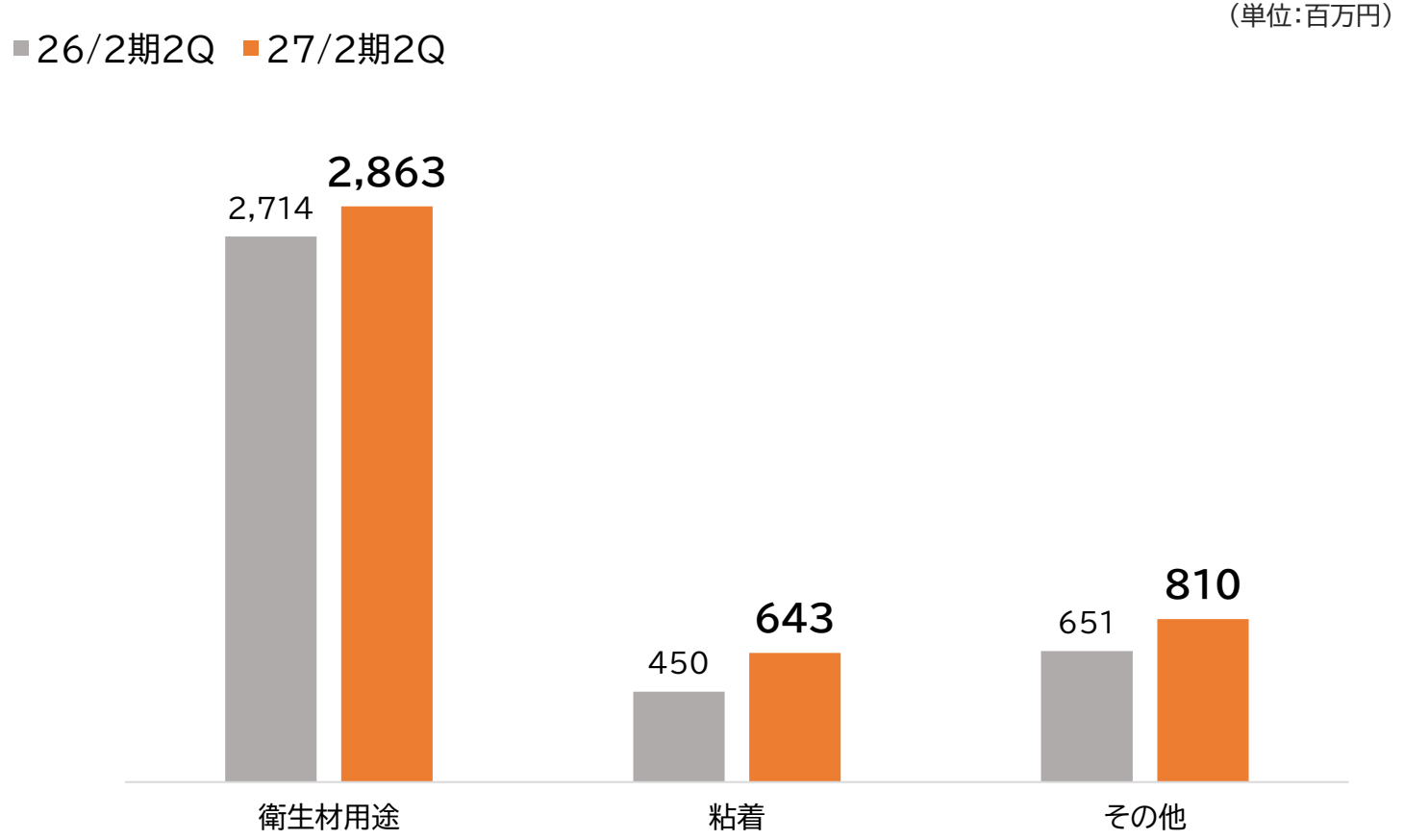
➢ 衛生材用途
- 国内需要が増加したことにより増収

➢ 粘着
- 国内および中国における需要増により増収

➢ その他
- 国内および東南/南アジアにおける需要増により増収

製品別売上高

（単位：百万円）



Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

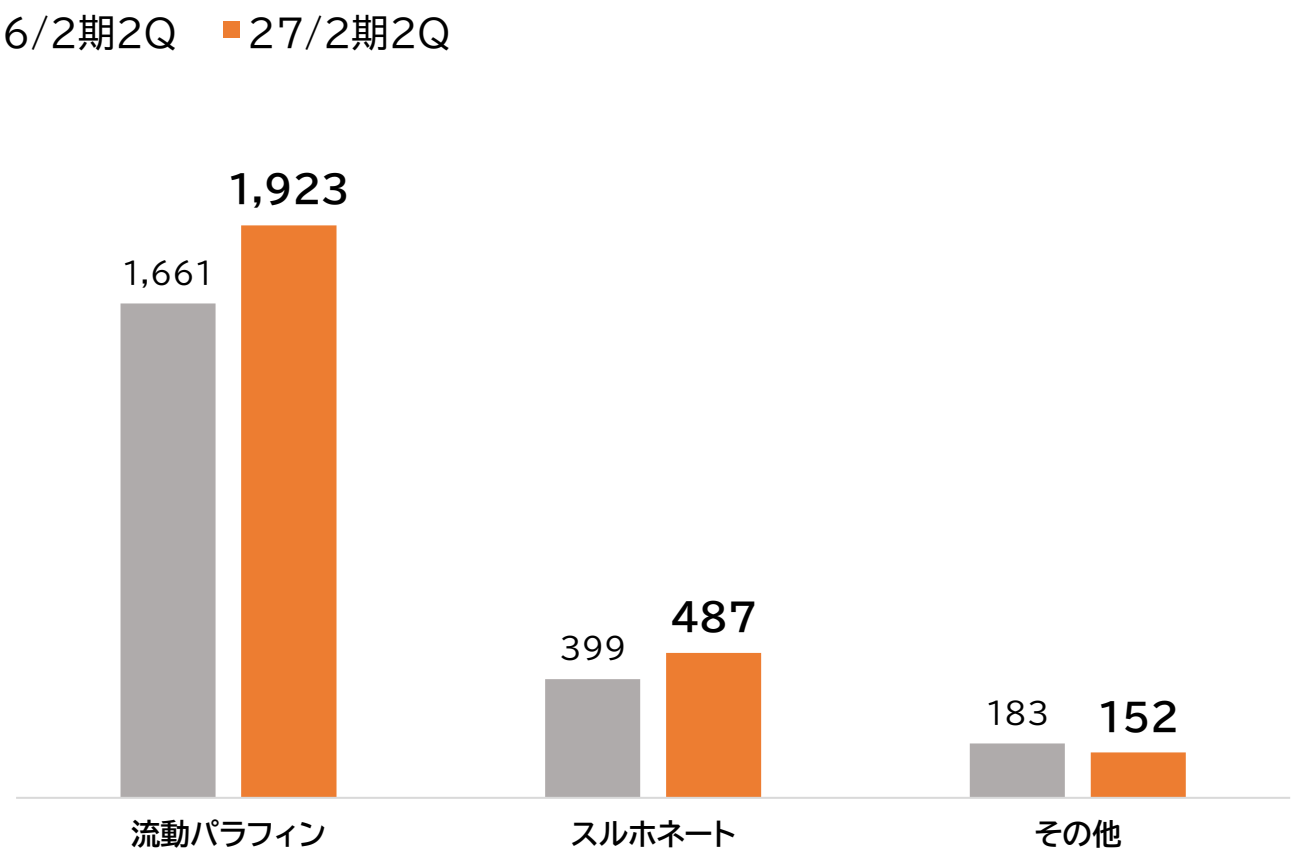
素材部門

【売上高】前年同期比14.2%増（2,562百万円）　【売上数量】前年同期比3.9%減

- **流動パラフィン**
  - 価格是正により増収
- **スルホネート**
  - 国内および中国における需要増により増収

製品別売上高

（単位：百万円）

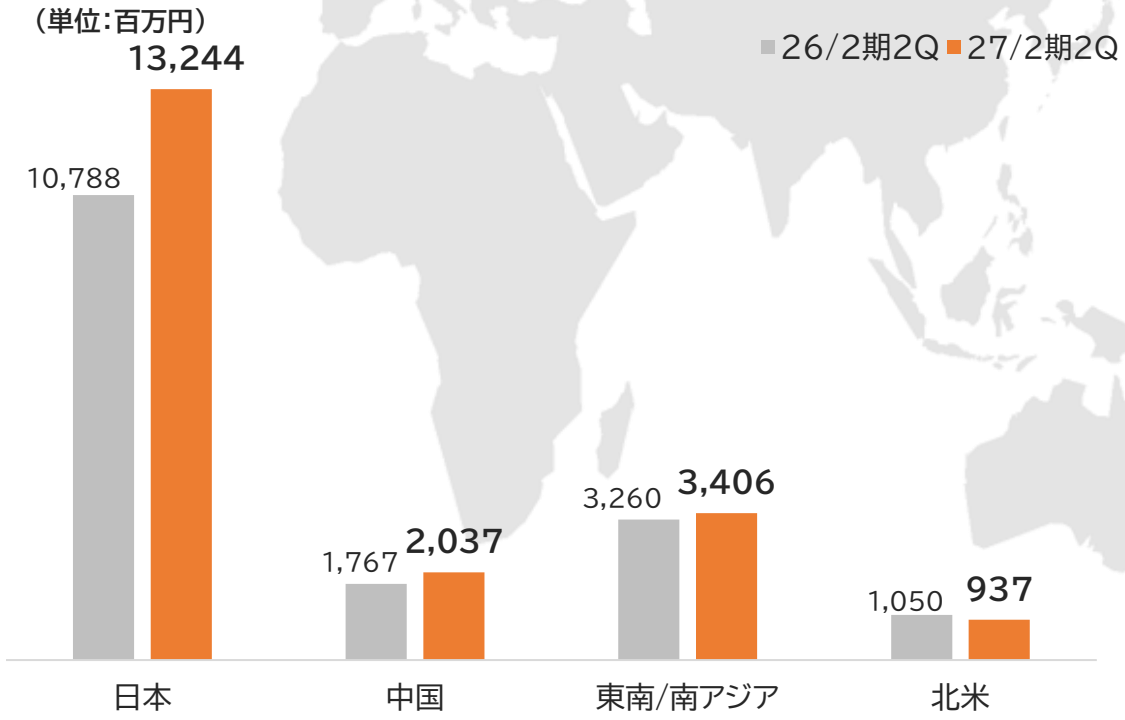


Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

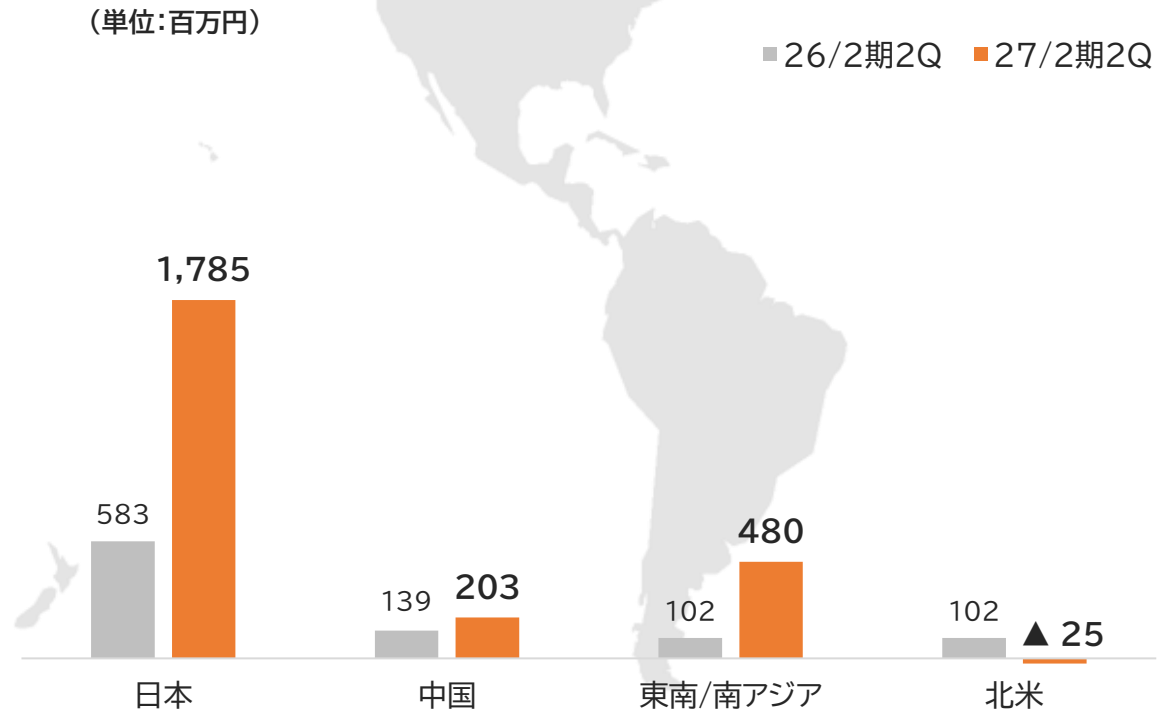
連結セグメント損益

【日本】　切削油剤や衛生材用途のホットメルト接着剤等、主要部門の売上が好調だったことにより増収増益
【中国】　真空油剤、捕虫材用途のホットメルト接着剤等の販売増により増収増益
【東南/南アジア】　ホットメルト接着剤の不採算製品を整理した一方で、特殊潤滑油部門の需要増により増収増益
【北米】　主要顧客における需要減により減収減益

売上高



セグメント利益



Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

目　次

- 経営環境および業績の概要
- **財務の状況**
- 第10次中計の進捗状況およびトピックス

Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

連結損益計算書

➢ 売上高
- 特殊潤滑油部門など主要各部門で売上が増加

➢ 売上総利益、営業利益
- 高付加価値製品の拡販および価格是正により売上総利益率が上昇し、増益

➢ 経常利益
- 営業利益の増加および為替差損の減少により増益

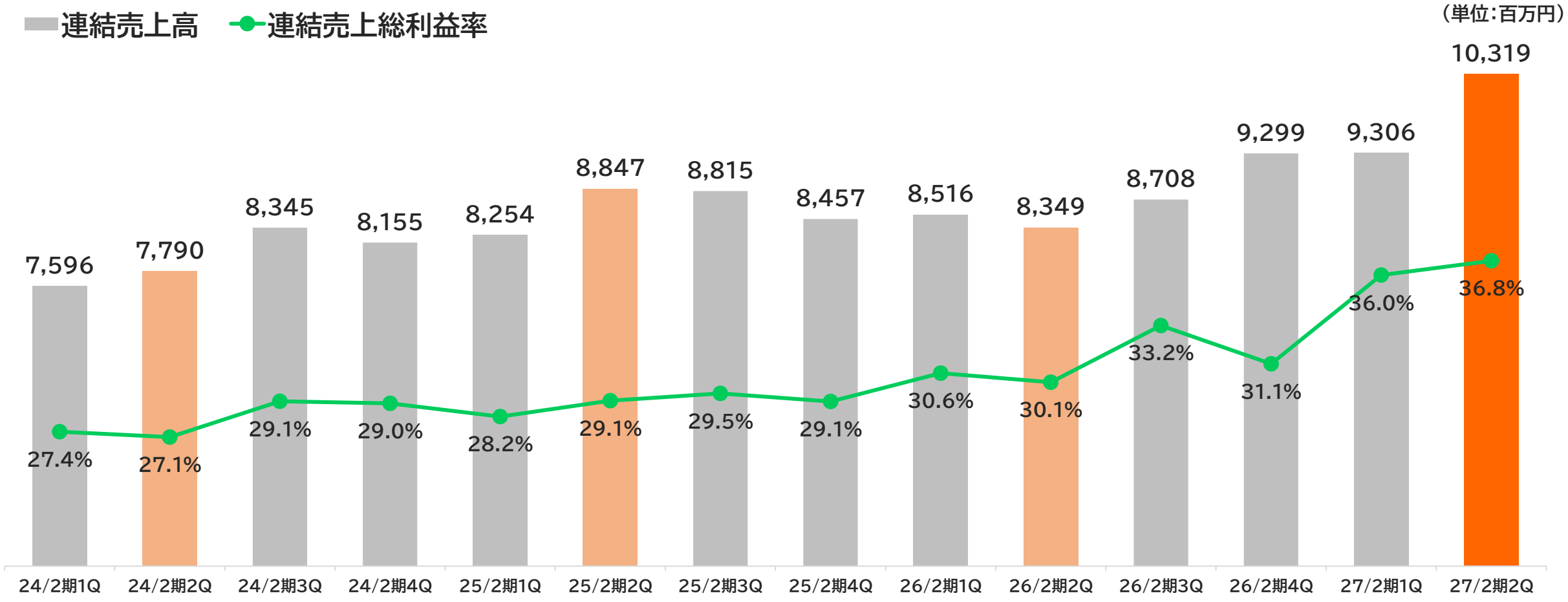
（単位：百万円）	26/2期 2Q	27/2期 2Q	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	16,865	**19,625**	+2,760	+16.4%
売上総利益	5,122	**7,149**	+2,026	+39.6%
販管費	4,173	**4,691**	+519	+12.4%
研究開発費	(777)	(826)	+48	+6.2%
営業利益	949	**2,457**	+1,508	+158.8%
営業外損益	▲28	**272**	+300	–
経常利益	922	**2,729**	+1,808	+196.2%
税引前利益	919	**2,346**	+1,427	+155.3%
当期純利益※	506	**1,516**	+1,010	+199.5%

※親会社株主に帰属する中間純利益

Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

売上高および売上総利益率の推移

- 売上高の増加傾向を維持
- 売上総利益率は36.8%に上昇



Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

連結貸借対照表

棚卸資産
- 商品および製品　+467
- 原材料および貯蔵品　+485

有利子負債
- 短期借入金　▲1,317

包括利益累計額
- 為替換算調整勘定　+517

（単位：百万円）		増減額（前期末比）			増減額（前期末比）
現預金	5,971	▲943	仕入債務	5,509	+428
売上債権	9,411	+750	有利子負債	2,912	▲1,648
棚卸資産	7,844	+952	その他流動負債	2,804	+123
その他	700	+38	その他固定負債	1,286	▲191
流動資産合計	23,925	+796	負債合計	12,510	▲1,289
有形固定資産	9,599	▲333	資本金・資本剰余金	4,102	+5
無形固定資産	1,249	▲34	利益剰余金	17,579	+1,194
投資その他	6,553	+215	自己株式	▲628	+13
			包括利益累計額	4,121	+484
			非支配株主持分	3,642	+236
固定資産合計	17,401	▲152	純資産合計	28,817	+1,934
資産合計	41,327	+644	負債・資本合計	41,327	+644

Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

連結キャッシュフロー

➢ 主な増減要因

営業キャッシュフロー

- 税金等調整前中間純利益　＋2,346
- 減価償却費　＋604
- 棚卸資産の増加　▲928

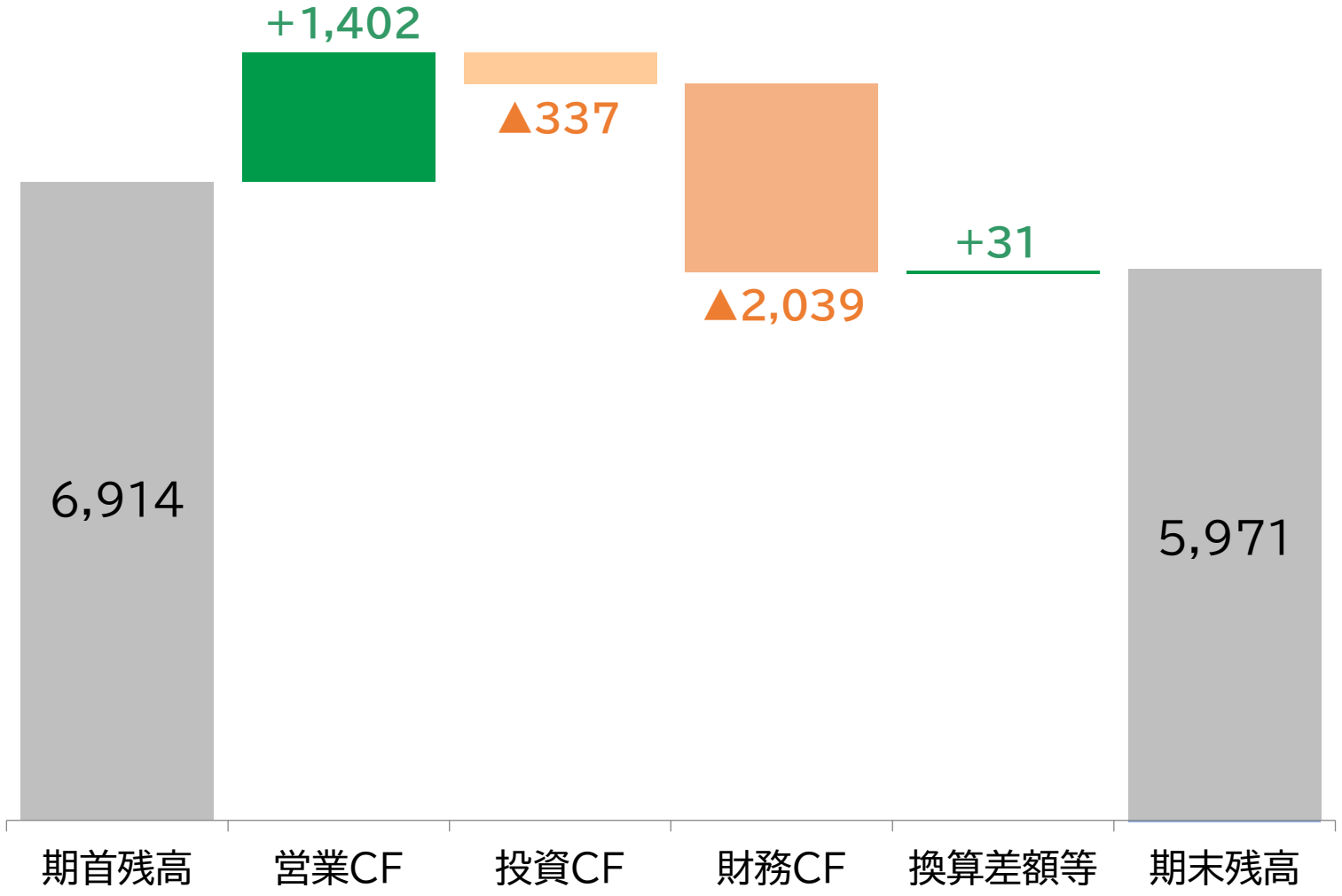
投資キャッシュフロー

- 有形固定資産の取得による支出 ▲299

財務キャッシュフロー

- 短期借入金返済による支出　▲1,317
- 長期借入金返済による支出　▲332
- 配当金支払額　▲321

（単位：百万円）



Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

業績予想の上方修正および増配(2026年10月15日公表)

- 好調な業績を踏まえて、売上高および利益を上方修正
- 配当予想を増額修正

業績予想の上方修正

国内外で価格是正が進んだこと、高付加価値製品の販売が増加したこと等により、当初予想を上回る見込みとなったことから業績予想を修正しました。

(単位:百万円)	27/2期 当初予想	27/2期 修正予想	増減率
売上高	37,000	**40,000**	+8.1%
営業利益	2,400	**4,500**	+87.5%
経常利益	2,700	**4,800**	+77.8%
当期純利益	1,550	**2,800**	+80.6%

配当予想の増額修正

通期連結業績予想の上方修正を踏まえて予想配当を修正しました。

	27/2期 当初予想	27/2期 修正予想	増減額
第2四半期末	25円	**25円**	―
期末	30円	**70円**	+40円
合計	55円	**95円**	+40円

Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

連結業績予想

- 売上高および営業利益、経常利益、当期純利益を上方修正
- 配当予想を増額修正

通期予想の前提

- 原油価格:130ドル/BBL
- 為替レート:160ドル/円

1株当たり年間配当金(予想)

- 95円(中間:25円、期末70円)

(単位:百万円)	26/2期 通期実績	27/2期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	34,871	**40,000**	+5,129	+14.7%
営業利益	2,367	**4,500**	+2,133	+90.1%
経常利益	2,704	**4,800**	+2,096	+77.5%
当期純利益※	1,525	**2,800**	+1,275	+83.6%

※親会社株主に帰属する当期純利益

Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

目　次

- 経営環境および業績の概要
- 財務の状況
- **第10次中計の進捗状況およびトピックス**

Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

第10次中期経営計画-基本方針と主要な取り組み

第10次中期経営計画のテーマ

「持続可能な社会の実現」と「事業の付加価値の向上」の両立

基本方針	主要な取り組み
サステナビリティ経営の推進	・カーボンニュートラルの推進　・MGS製品売上比率の引き上げ ・環境負荷低減への取り組み
製品ポートフォリオの高度化	・高付加価値製品の開発と売上拡大 ・サーキュラーエコノミーへの対応
次世代事業の創出	・ライフサイエンス事業への注力 ・ペロブスカイト太陽電池関連の事業推進
業務プロセスの革新	・生産プロセスの革新　・DX化の推進 ・物流問題への対応
資本収益性の向上	・収益力（稼ぐ力）の強化　・人的資本経営の推進 ・株主還元　・IR活動の強化

Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

第10次中期経営計画-経営目標

第10次中計期間

	（百万円）	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 当初目標※1	2026年度 計画
業績	売上高	31,886	34,374	34,871	38,000	40,000
	売上高成長率	-	7.8%※2	4.6%※2	6.0%※2	7.9%※2
	営業利益	1,225	1,391	2,367	2,700	4,500
	営業利益率	3.8%	4.0%	6.8%	7.1%	11.3%
	経常利益	1,826	1,821	2,704	3,000	4,800
資本効率性	ROE	6.6%	4.8%	6.8%	8%水準	
	連結配当性向	32.4%	40.7%	33.1%	30%以上	
非財務目標	MGSの売上比率	33%	34%	38%	40%	

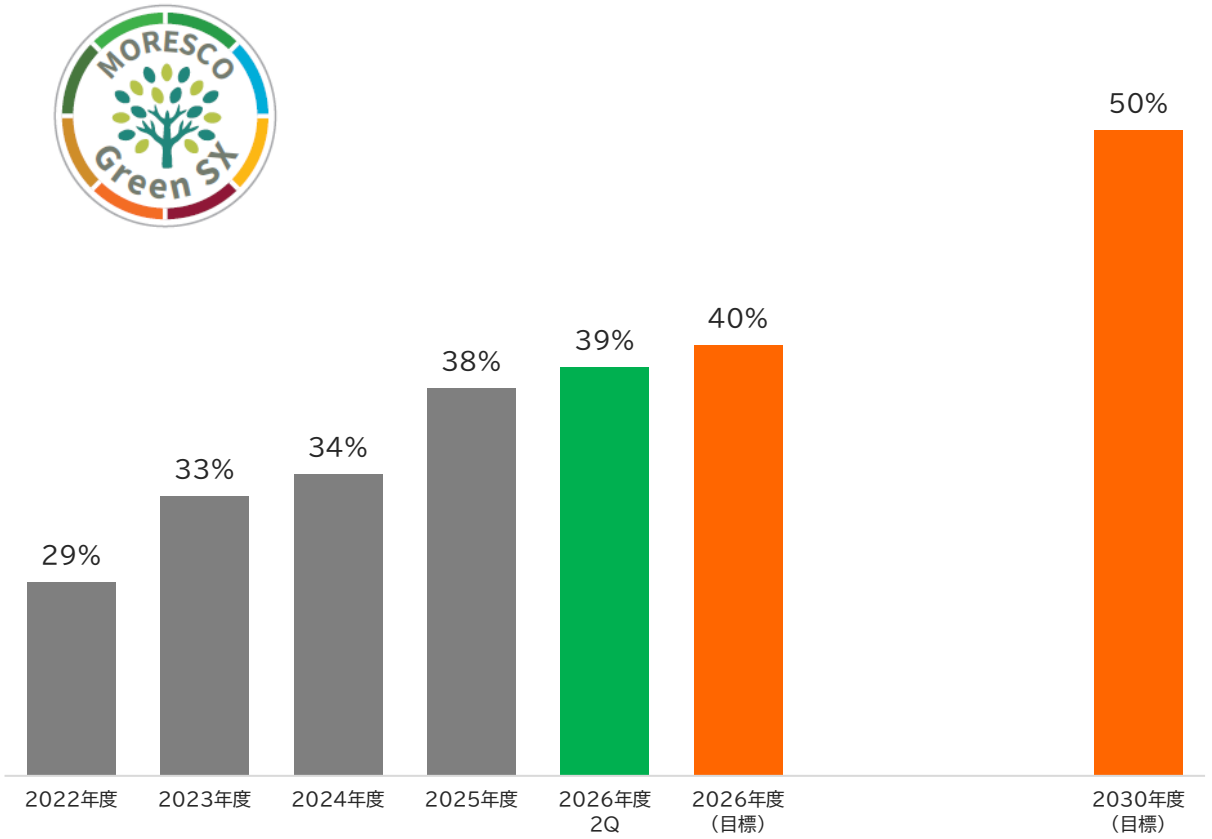
※1 計画策定時（2024年2月）の目標値
※2 2023年度からの年平均成長率（CAGR）

Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

MGS製品売上比率の引き上げ

- 2026年度目標40%を達成できる見込み
- MGS（MORESCO Green SX）製品は粗利率が高く、利益面で大きく貢献

MGS製品売上比率



MGS製品例

水溶性少量塗布型離型剤
グラフェースMQシリーズ

省エネルギー

環境保全

作業環境改善



反応型ホットメルト
モレスコメルトRO-400

省エネルギー

作業環境改善



Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

高付加価値製品の開発と売上拡大-PFASフリー潤滑剤

- 電子部品(半導体製造装置)向けの販売開始
- 電子部品市場および産業機械市場への展開を図り、主力製品化を目指す

PFASフリー潤滑剤の推定市場規模

・700億円(2022年実績) → 1,100億円(2028年)

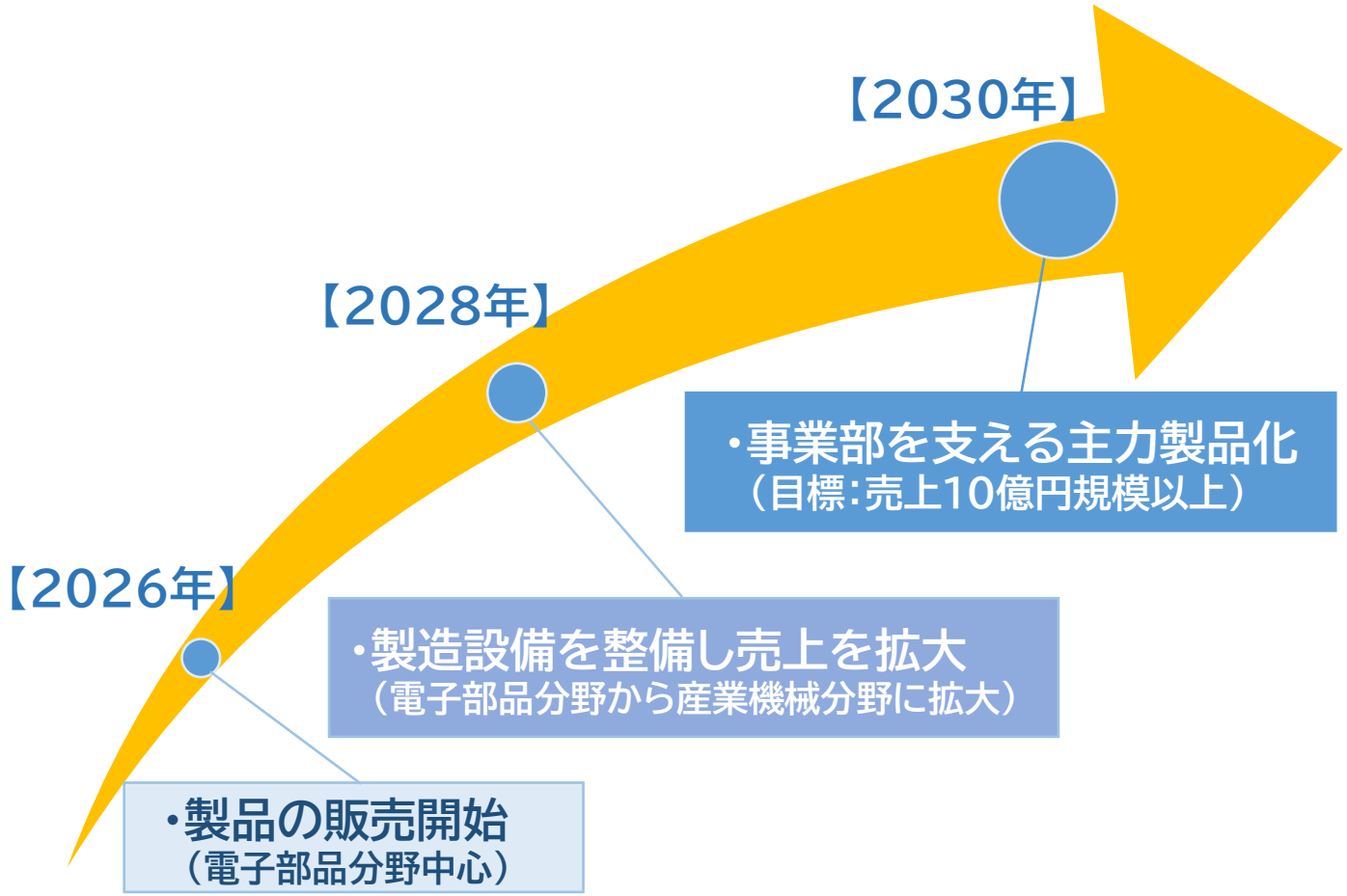
・主な用途別(2022年実績)

電子部品：24%(半導体製造装置関連)
➡ 約170億円

産業機械：14%(コルゲーターマシンなど)
➡ 約100億円

自動車　：15%

出所:公表情報をもとに当社作成



Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

次世代事業の創出-ペロブスカイト太陽電池向け封止材

➢ 早期実用化に向けて当社の高機能な封止材で貢献

大学・産業コンソーシアムへの積極的な参画

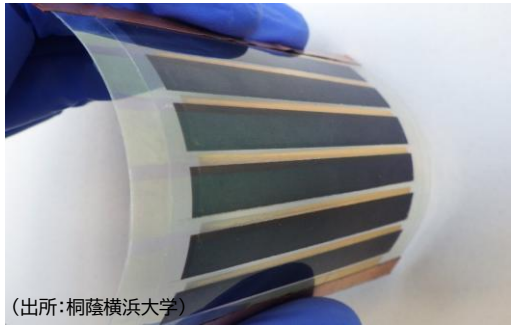
技術連携コンソーシアム（桐蔭横浜大学 宮坂教授）との協働、フィルム太陽電池研究コンソーシアム（京都大学 若宮教授）への入会など、ペロブスカイト太陽電池の早期実用化に向けた取り組みを加速しています。



左：宮坂教授　右：両角CEO

デバイスの長寿命化を実現する封止材

空気中の水分・酸素に極めて弱いペロブスカイトを高バリア性を有する当社の封止材で保護



（出所：桐蔭横浜大学）

バリア性能の高精度な評価

世界最高クラスの感度と高精度でフィルムのガスや水分のバリア性を測定・評価



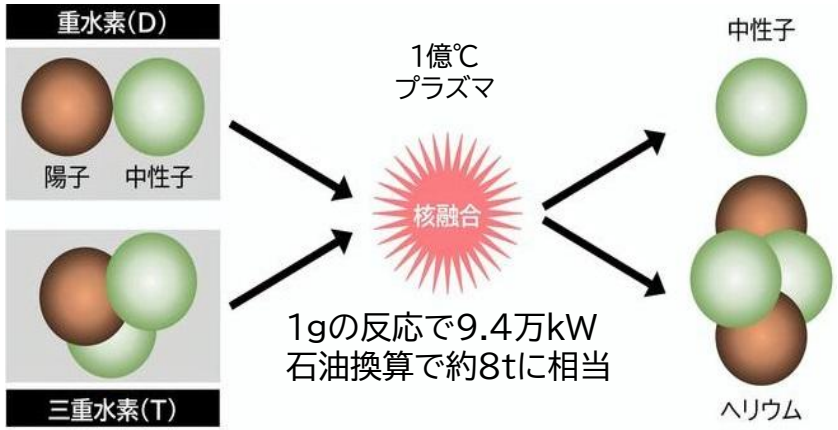
ガス・水蒸気透過度測定装置

Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

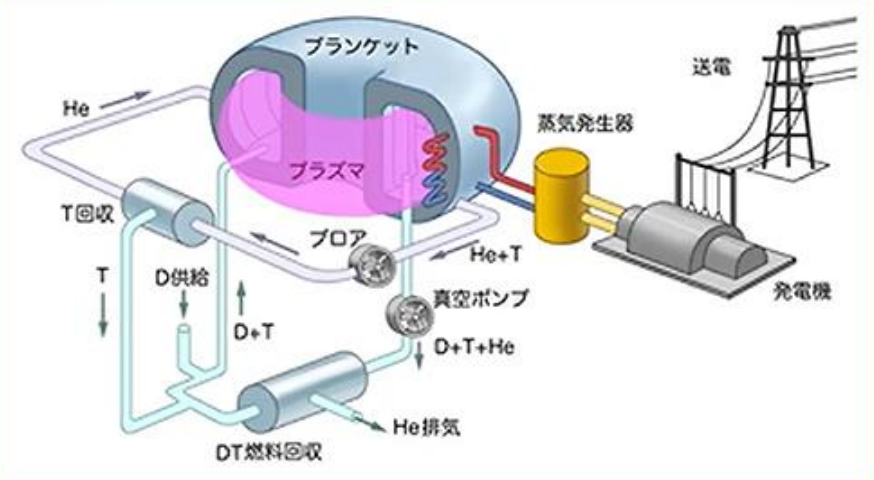
次世代事業の創出-耐放射線性潤滑剤①

➢ フュージョン(核融合)プラントの開発において、当社は固有技術の耐放射線性潤滑剤で貢献

核融合反応



核融合発電



出所:公表情報をもとに当社作成

当社の耐放射線性潤滑剤(モレスコハイラッド)

・耐放射線性潤滑剤(モレスコハイラッド)は、原発、加速器、福島廃炉等の高放射線下でも世界最高水準で劣化が少なく、潤滑面で施設の長期安定安全稼働に貢献します。



Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

次世代事業の創出-耐放射線性潤滑剤②

➢ 当社はフュージョン(核融合)プラント関連装置の潤滑領域におけるリーディングカンパニー

フランスのITERにて当社品が採用

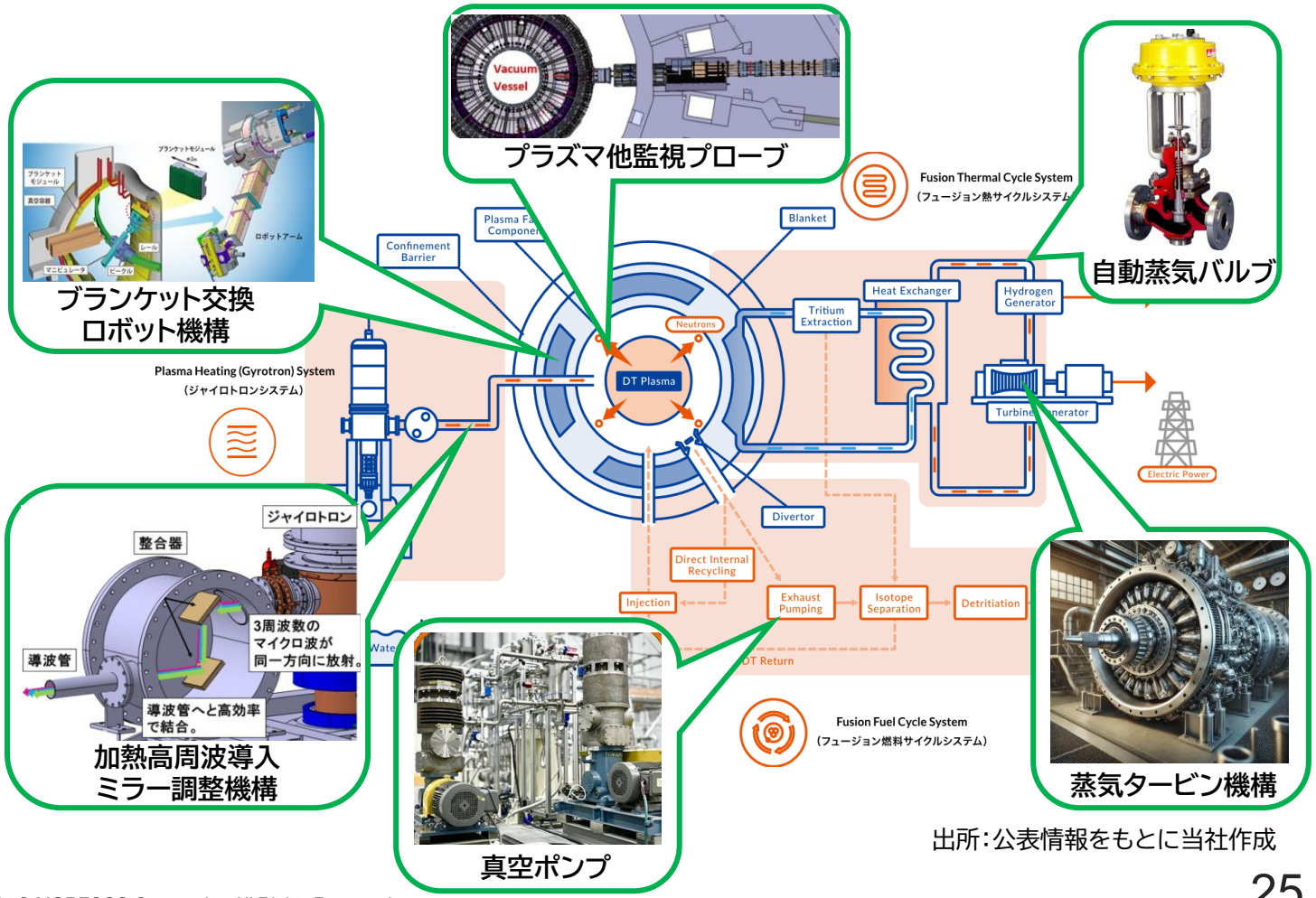
・極限環境に対応する当社独自技術の信頼性が高く評価され、フランスに建設中の国際熱核融合実験炉「ITER」において、当社の耐放射線性潤滑剤が採用されました。

京都フュージョニアリング社との包括的業務提携

・2025年5月、京都フュージョニアリング社と将来のフュージョン(核融合)プラントに用いられる耐放射線性潤滑剤の共同開発および販売に関する包括的業務提携を開始しました。

MORESCO × KYOTO FUSIONEERING

当社製品の利用が想定される搭載設備例



出所:公表情報をもとに当社作成

Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

DX化の推進-ラボラトリーオートメーション

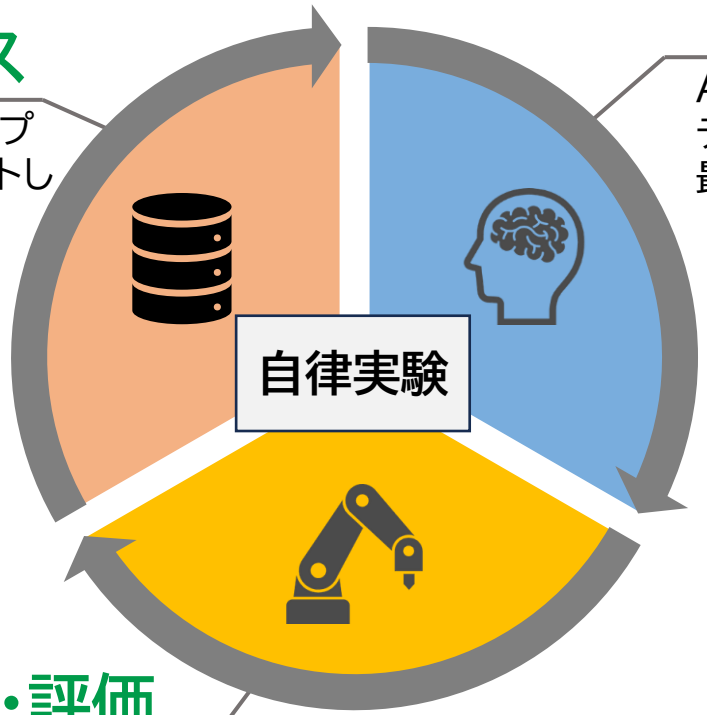
- ロボットとAIを活用し最適配合条件を自動探索
- 定型業務を省力化し、創造的なテーマに注力

データベース

電子実験ノート(サンプルデータ)をインプットしてデータベース化

機械学習

AIにより、サンプルのデータベースをもとに、最適調合を自動で推論



実験・評価

ロボットにより、調合と性能評価を自動化

自動調合システム

ロボットアームを活用して、時間のかかる油剤や材料の配合作業を自動で行います。



Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

第2研究センターの建設

- 新規事業の創出に向けて、2027年上期中の運用開始を目指して、新たな研究センターを建設中

第2研究センターの外観イメージ



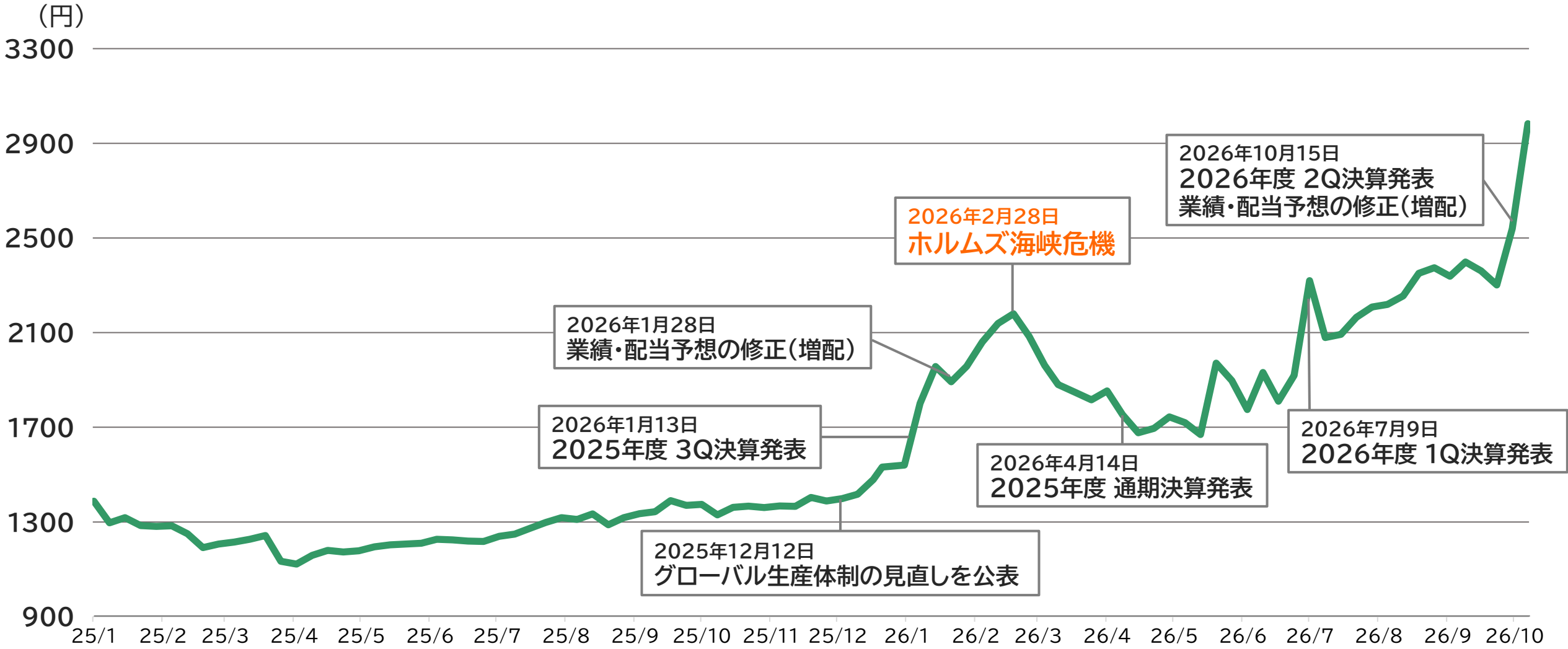
研究センターの所在地



Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

株価の推移

➢ 2025年12月以降、株価は上昇傾向



Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

トピックス-関係会社出資金評価損の計上(2026年10月15日公表)

関係会社出資金評価損(個別)の計上に関するお知らせ

2027年2月期中間期の当社個別決算において、連結子会社である天津莫莱斯柯科技有限公司に対する出資金の時価が著しく下落したため、減損処理による評価損を504百万円計上しました。

なお、中間期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しているため、第3四半期以降の出資金の時価の状況により、今回計上した評価損の計上額が変動する可能性があります。

また、当該評価損は個別財務諸表のみに計上されるものであり、連結決算においては消去されるため、連結業績への影響はありませんが、2025年12月12日付「グローバル生産体制の見直しに伴う中国子会社の解散に関するお知らせ」にて公表している天津莫莱斯柯科技有限公司の解散および清算手続の進捗に伴い、2027年2月期中間連結会計期間において、関係会社整理損(特別損失)384百万円を計上しております。

Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

本社・研究センター

地球にやさしいオンリーワンを世界に届けるMORESCOグループ





- この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。
- 本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。
- なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。

Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.